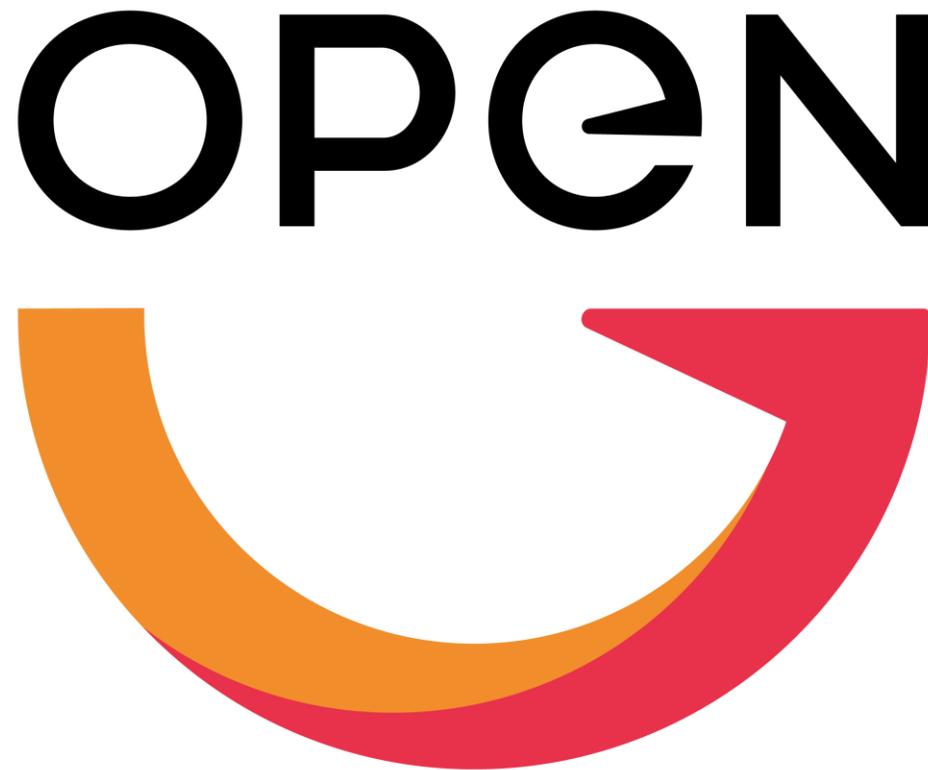


2025年2月期 第3四半期 決算説明資料

オープングループ株式会社
(東証プライム：6572)

2025年1月14日



#1

2025年2月期第3四半期の 連結業績

2025年2月期第3四半期連結業績

インテリジェントオートメーション事業、アドオートメーション事業ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比で増収。一方で、人件費、広告宣伝費等の増加により営業利益は前年同期比で微減。

持分法適用子会社の投資損失298百万円を営業外費用として計上したことで、経常利益、税前利益は前年同期比で減益。前期は投資有価証券売却、事業譲渡による特別利益345百万円を計上。また、2025年2月期通期業績予想に織り込んでいた2024年11月の本社移転に伴う移転関連費用の一部を当第3四半期決算において特別損失に計上。連結子会社の合併及びRoboRobo事業のコンプライアンスサービスの黒字化により繰延税金資産を計上したことで、純利益は131百万円。

単位：百万円

	2024年2月期 Q3	2025年2月期 Q3	前期比
売上高	4,482	5,274	+17.7%
営業利益	341	334	△1.9%
経常利益	123	△23	—
税金等調整前 四半期純利益	403	△121	—
親会社株主に 帰属する四半期純利益	290	131	△54.6%

連結業績予想の修正

2024年12月17日付「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込及び業績予想の修正に関するお知らせ」、及び2024年12月23日付「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」で公表した通り、投資有価証券売却益150百万円を特別利益に計上したことに伴い、2025年2月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。なお、本件に伴う配当予想の修正はございません。

単位：百万円

	2024年2月期	2025年2月期 前回予想	2025年2月期 今回予想	修正額	今回予想 対前期比
売上高	6,165	7,200	7,200	—	+16.8%
営業利益	520	650	650	—	+25.0%
経常利益	263	260	260	—	△1.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	166	360	460	100	+177.1%

#3

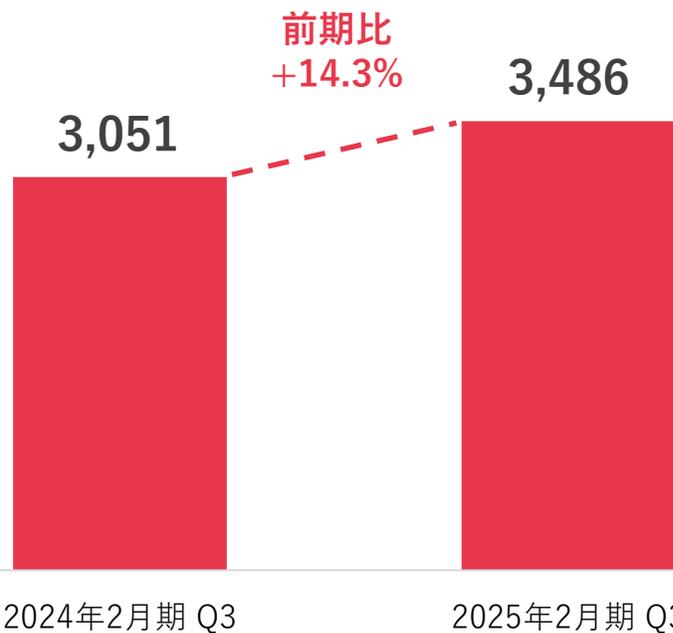
インテリジェント オートメーション事業の概況

インテリジェントオートメーション事業ハイライト

BizRobo!、RoboRoboともに、導入企業が順調に増加し、売上高が堅調に推移
RoboRoboの製品開発を中心とした先行投資は継続するも、コンプライアンスサービスの黒字化により赤字幅は縮小

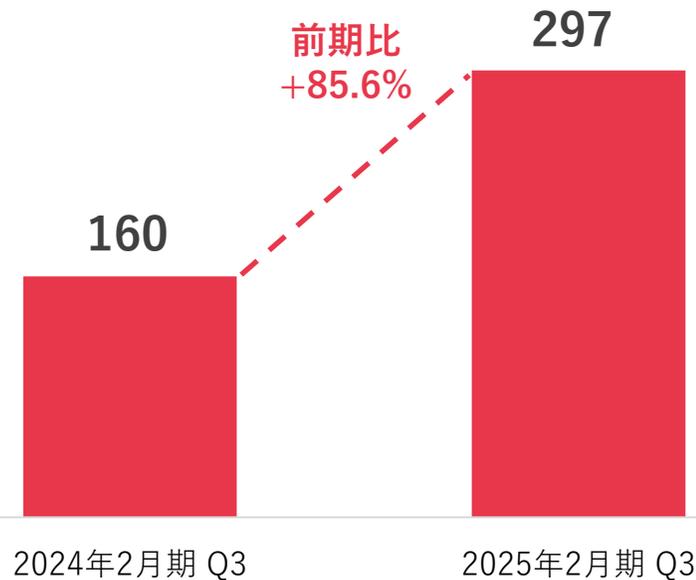
売上高

単位：百万円



セグメント利益

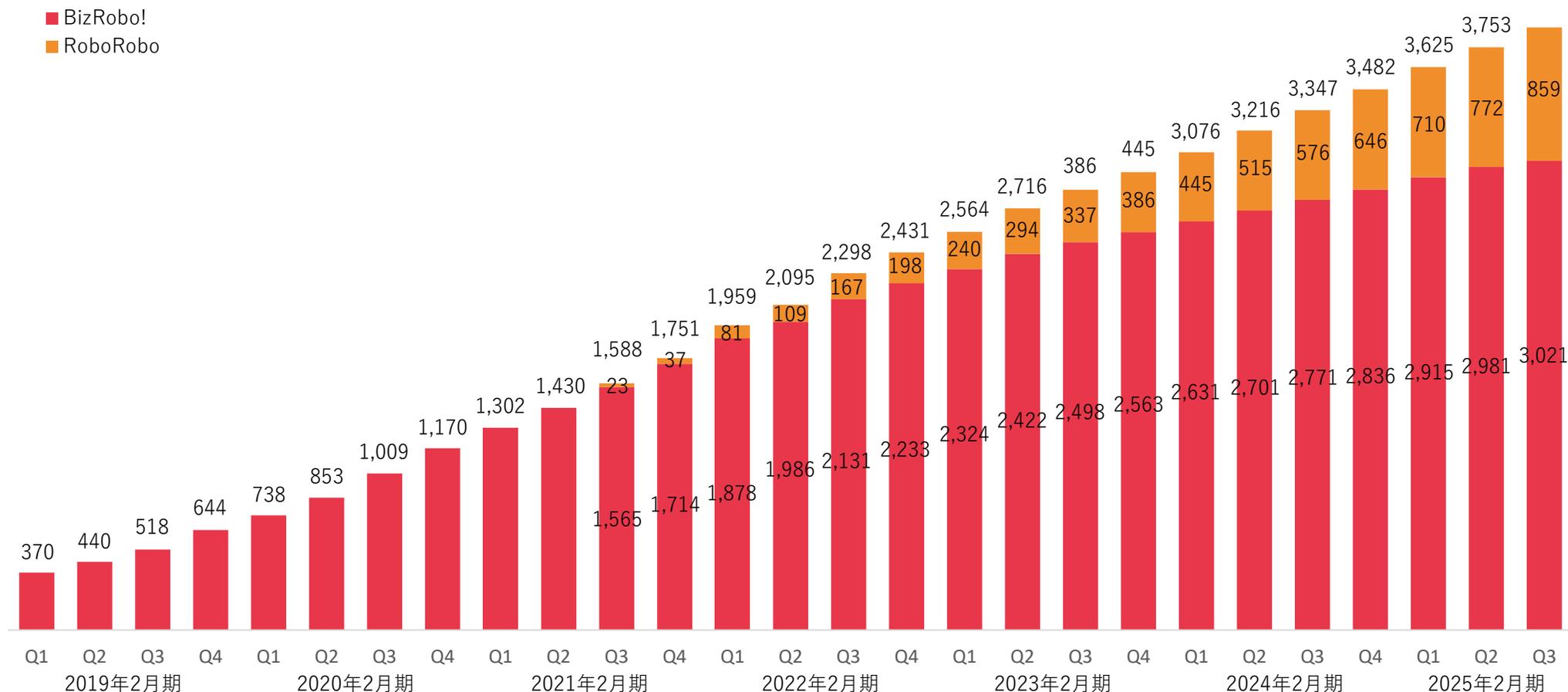
単位：百万円



インテリジェントオートメーション事業ハイライト：導入企業数

累計導入企業数は、今四半期も順調に拡大
 BizRobo!の解約率は、導入企業が増加する中においても0.75%と低い水準を維持

3,880社

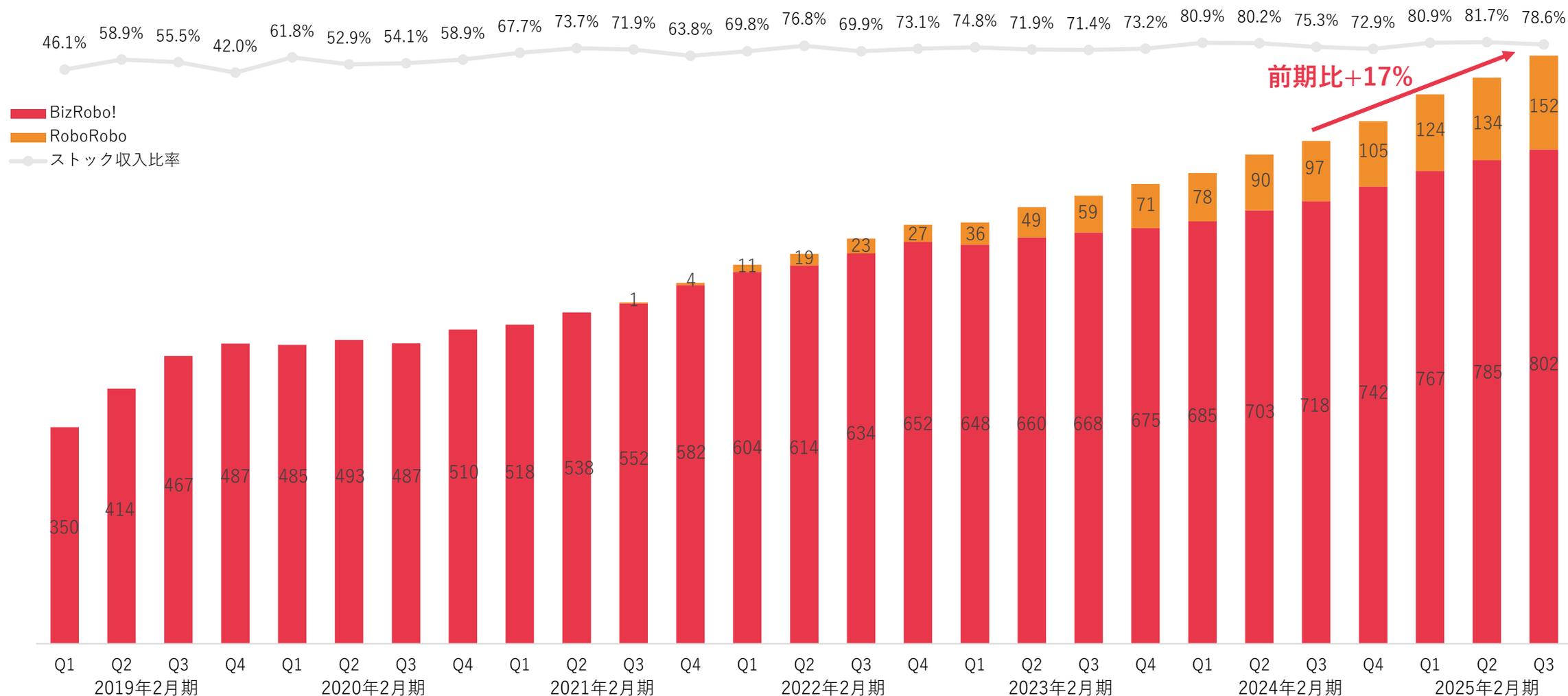


※BizRobo!は、BizRobo!Basic、BizRobo!Lite、BizRobo!miniの導入企業数合計

インテリジェントオートメーション事業ハイライト：ストック収入

盤石な収益基盤となるストック収入は、前年同期比で+17%。ストック収入比率も高水準を維持

単位：百万円



※BizRobo!は、BizRobo!Basic、BizRobo!Lite、BizRobo!miniのストック収入合計

#4

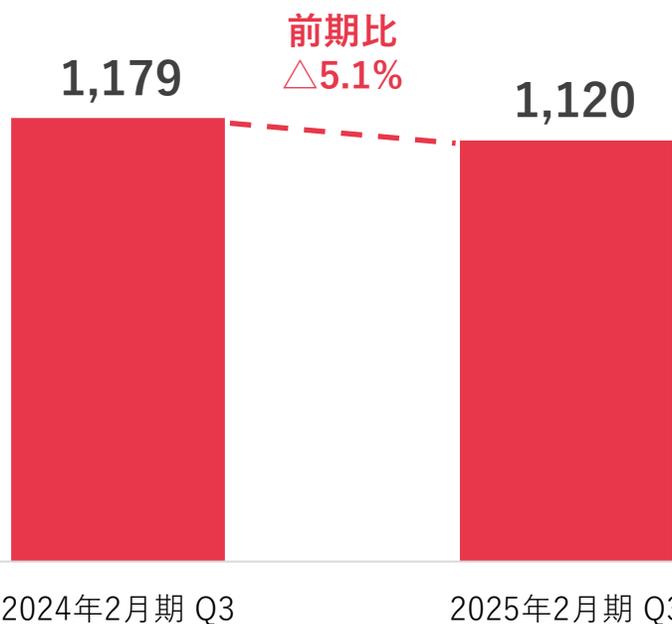
アドオートメーション事業の概況

アドオートメーション事業ハイライト

業績のボラティリティを高めていた案件の事業整理を進めたことによる減収減益影響に加えて、一部キャンペーン案件の終了や季節要因もあり減収するも、引き続き取扱いシェア拡大に向けた取り組みは順調に進み、手数料率の改善を進めたことで増益

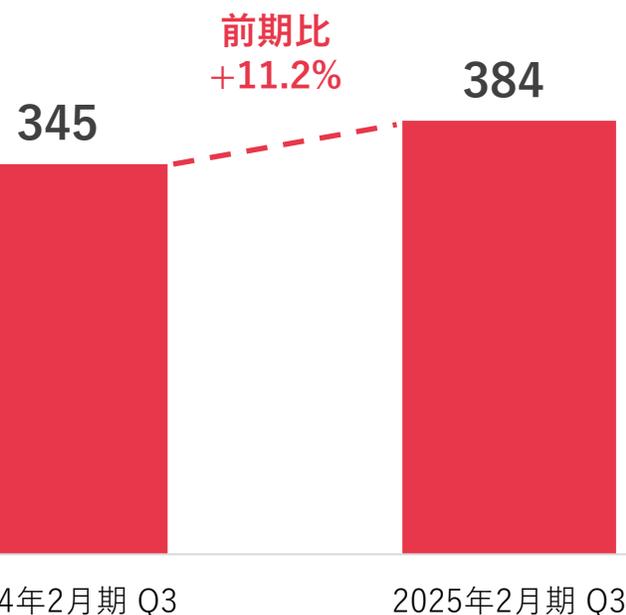
売上高

単位：百万円



セグメント利益

単位：百万円



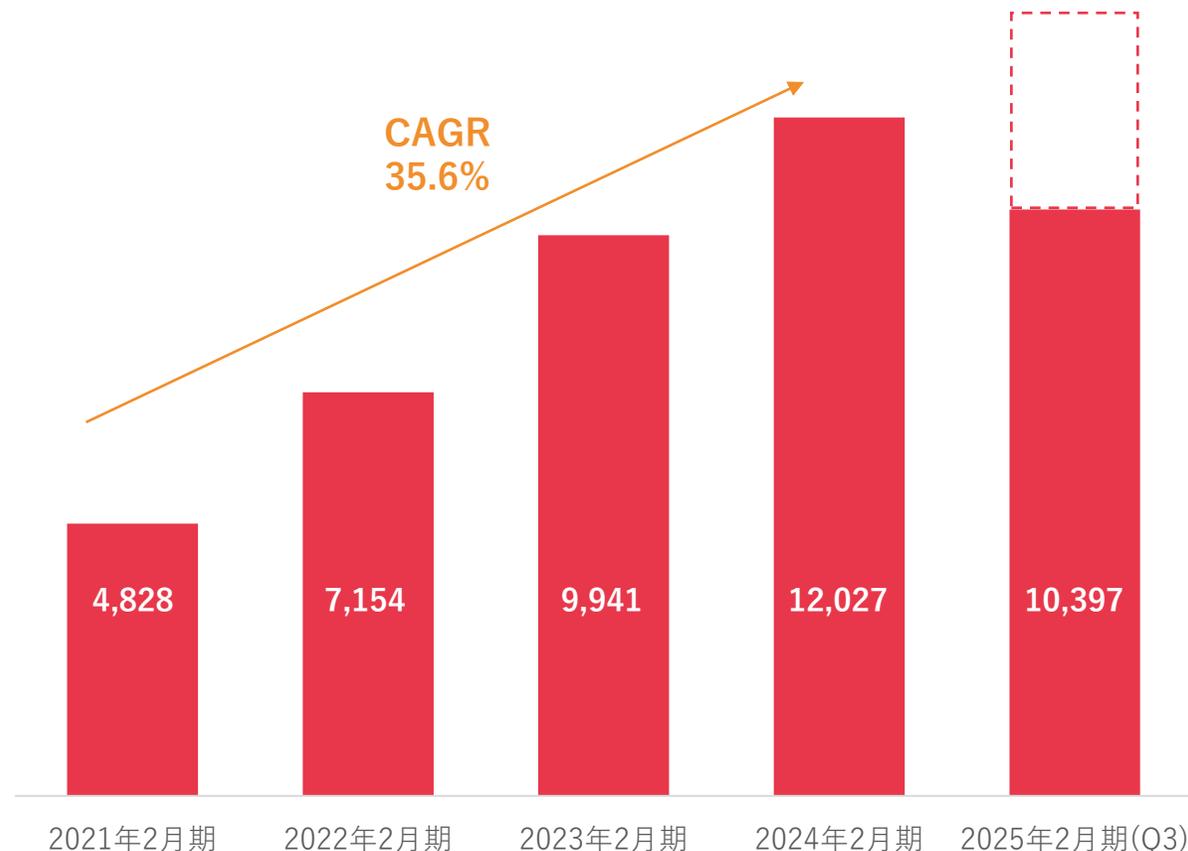
アドオートメーション事業ハイライト：取扱高の推移



- アドオートメーション事業における主力プロダクトであるPRESCOは、労働集約型のCPA広告業界において、オートメーション化を実現。当社の強みであるRPA等の先端技術の社会実装が最も威力を発揮した領域
- 競合からのリプレイス→取扱シェア拡大→取扱高増加のサイクルに入り、近年、高成長を実現。2025年第3四半期も順調に取扱高が増加し、足元もモメンタムは良好
- 取扱高の拡大と並行して、手数料率の設定の見直し等を通じて、更なる収益性の向上を追求

< PRESCO取扱高の推移 >

単位：百万円



#5

自己株式の取得について

自己株式の取得について

資本効率の向上、機動的な資本政策の遂行等を目指し、2025年1月14日に自己株式の取得を決議

取得目的	<ul style="list-style-type: none">資本効率の向上機動的な資本政策の遂行
取得対象株式の種類	当社普通株式
取得しうる株式の総数	8,500,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合13.95%）
取得価額の総額	2,000,000,000円（上限）
取得期間	2025年1月15日（水）から2026年1月14日（水）まで
取得の方法	東京証券取引所における市場買付け

#6

參考資料

連結PL（2025/2期 第3四半期）

単位：百万円

	2024年2月期 Q3	2025年2月期 Q3	前期比
売上高	4,482	5,274	+17.7%
インテリジェントオートメーション事業	3,051	3,486	+14.3%
アドオートメーション事業	1,179	1,120	△5.1%
その他	251	668	+165.9%
営業利益	341	334	△1.9%
営業利益率	7.6%	6.3%	-
税金等調整前当期純利益	403	△121	-
親会社株主に帰属する当期純利益	290	131	△54.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	6.5%	2.5%	-

セグメント情報（2025/2期 第3四半期）

単位：百万円

	インテリジェント オートメーション 事業	アド オートメーション 事業	合計	その他	調整額	連結
売上高	3,494	1,136	4,631	672	△29	5,274
外部顧客への売上	3,486	1,120	4,606	668	-	5,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	16	24	4	△29	-
セグメント利益	297	384	681	△19	△327	334
セグメント利益率	8.5%	33.8%	14.7%	-		6.3%

連結BS

単位：百万円

	2024年2月期	2025年2月期 Q3末	増減
流動資産	14,372	13,900	△472
現金及び預金	11,516	11,127	△388
固定資産	4,870	6,083	1,212
資産合計	19,243	19,983	740
流動負債	5,826	6,015	189
固定負債	1,749	2,083	334
負債合計	7,575	8,099	523
(有利子負債)	3,966	4,421	455
資本金	5,914	5,920	5
資本剰余金	6,022	6,066	43
利益剰余金	211	343	131
自己株式	△494	△465	28
純資産合計	11,667	11,884	216

#7

会社概要

会社概要

社名	オープングループ株式会社 (OPEN Group, Inc.)
設立	2000年4月
資本金	5,914百万円 (2024年2月末現在)
所在地	東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル 3階
役員	代表取締役 高橋 知道 取締役 大角 暢之 取締役 松井 哲史 社外取締役 西木 隆 取締役 (監査等委員) 増田 吉彦 取締役 (監査等委員) 永井 栄一 取締役 (監査等委員) 高橋 秀明 取締役 (監査等委員) 横山 美帆
事業内容	純粋持ち株会社
グループ会社	オープン株式会社 リーグル株式会社 ホスピタリティパートナーズ株式会社 オートロ株式会社 ご近所ワーク株式会社

MISSION

ヒトの進化を共創する



BizRobo!

働くすべての人を ルーティンワークから解放

BizRobo! に面倒な業務を任せることで、皆様の生産性を高めます。

単純作業における人的ミス、慢性的な人手不足、属人的になっている業務から現場の方を解放し、よりよい職場環境を作り上げましょう。

RoboRobo

クラウド型バックオフィス 効率化ツール

手間のかかるバックオフィス・・・その業務、なくなります。まとめて自動化しませんか？

人の得意な分野と自動化の得意な分野を組み合わせることで複雑なバックオフィスの行う効率を改善します。

PRESCO

デジタルマーケティング ロボット×オンライン広告

テクノロジーの発展に伴い、情報が溢れる世界において、PRESCOではユーザの本質的な意思決定を支援することを目指しています。

ロボットやAIを用いて、ユーザが能動的に行動できる世界を実現します。

インテリジェントオートメーション事業：BizRobo!

各種システムを利用した日常業務を当社独自のRPA技術をベースに自動化し、企業の生産性を向上。ノンITでも使えるユーザビリティ、充実のサポート体制、企業のニーズに応じた幅広い商品ラインナップが競争力の源泉

以下の日常業務の全てをRPAをコア技術として自動化



あらゆる企業に共通する以下の課題を解決

単純作業における
人的ミス



慢性的な
人手不足



属人的に
なっている業務



(例) 販売サイトでの商品情報入力業務、請求書の登録・印刷業務、
勤怠入力マイナインド業務、月次連結決算業務など

販売パートナー企業一例*



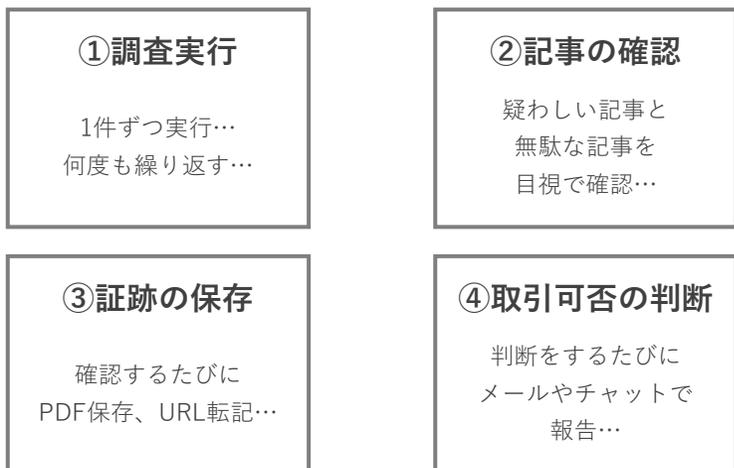
導入企業（2,900社以上）一例



インテリジェントオートメーション事業：RoboRobo

法務/総務、採用、人事労務などのあらゆる企業に共通する業務を自動化するクラウドサービス。法務/総務を皮切りに、採用、人事労務などに分野を拡大

従来の反社チェック業務だと、全て手作業・・・



RoboRobo
によりすべてのプロセスを自動化



法務/総務	RoboRobo コンプライアンス チェック	取引先の法令・社会規範への遵守状況を自動でチェックできるサービス
	RoboRobo 与信チェック	取引先の与信データの自動取得を可能とするサービス
採用	RoboRobo リクルーティング	採用ページ作成、求人媒体への一括掲載、応募者管理のオールインワンサービス
	RoboRobo バックグラウンド チェック	採用候補者の過去の経歴、法令遵守状況を自動でチェックできるサービス
人事労務	RoboRobo ペイロール	給与計算のアウトソーシングと明細発行・人事マスタ管理を統合したハイブリッドサービス
	RoboRobo 勤怠	出社、退社、休憩のみをシンプルに打刻管理可能なサービス

導入企業（6,000社*以上）一例

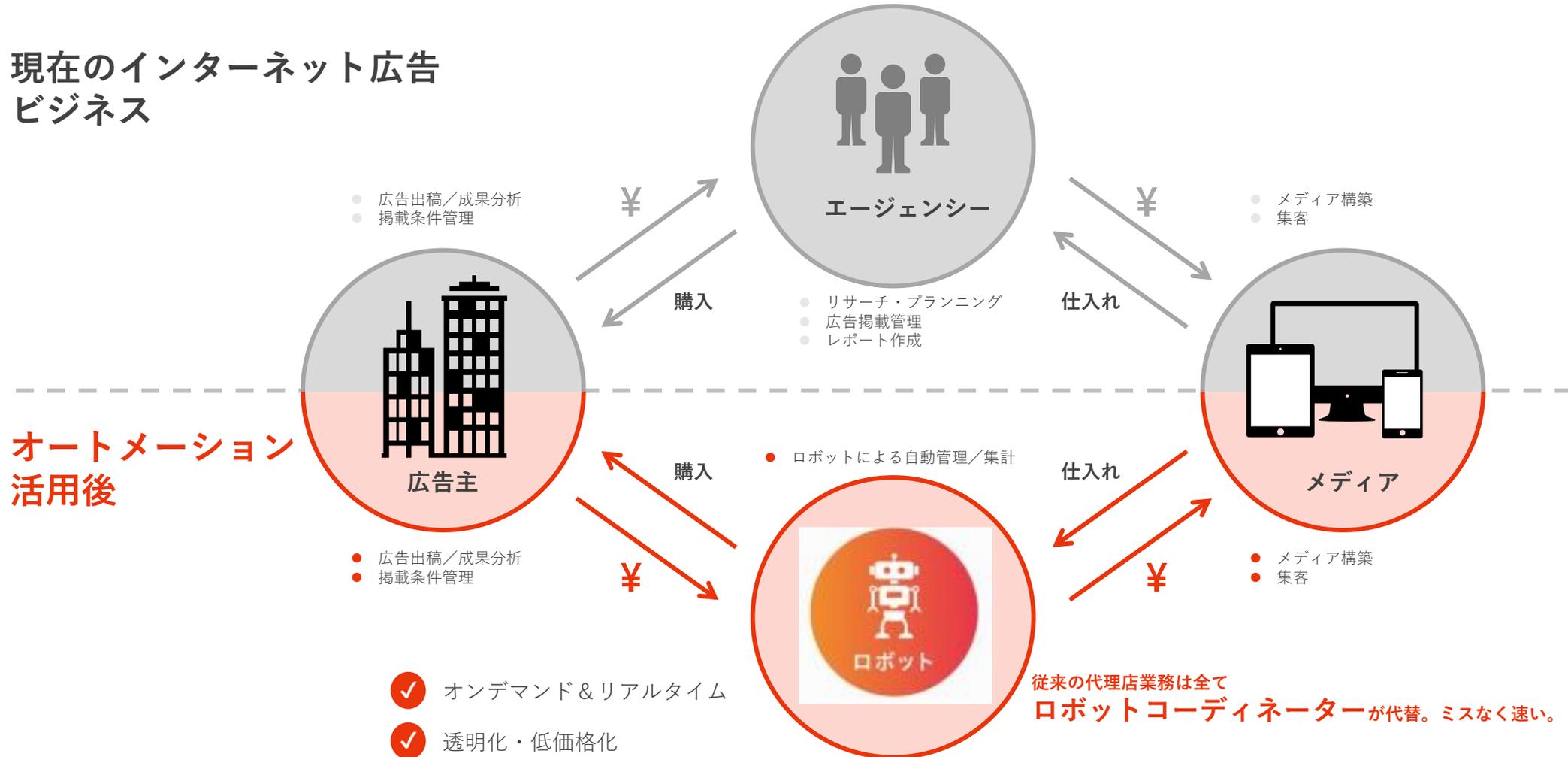


* 「RoboRoboコンプライアンスチェック」の導入企業数（無料トライアル・有料スポット利用ユーザー含む）

アドオートメーション事業：PRESCO

ロボットコーディネーターでエージェンシーを代替することによりオートメーション化を実現。全く新しい顧客体験を提供

現在のインターネット広告 ビジネス



各事業の成長戦略

BizRobo!

- 中堅中小企業での低導入率、労働人口減少を背景とした省人化・生産性向上への取り組み、DXを背景に、市場成長は続く。
- オートロ（株）グループインによるプロダクトラインナップの拡充、適用業務領域の拡大による追加ライセンス、アップセルにより、ストック収入の拡大を図る。
- BizRobo!で築いた3,000社以上の顧客資産をテコに、新商品・サービスの投入によって事業の拡大を図る。
- 今後も安定的なキャッシュフロー創出の源泉、キャッシュカウとして当社の成長に寄与。

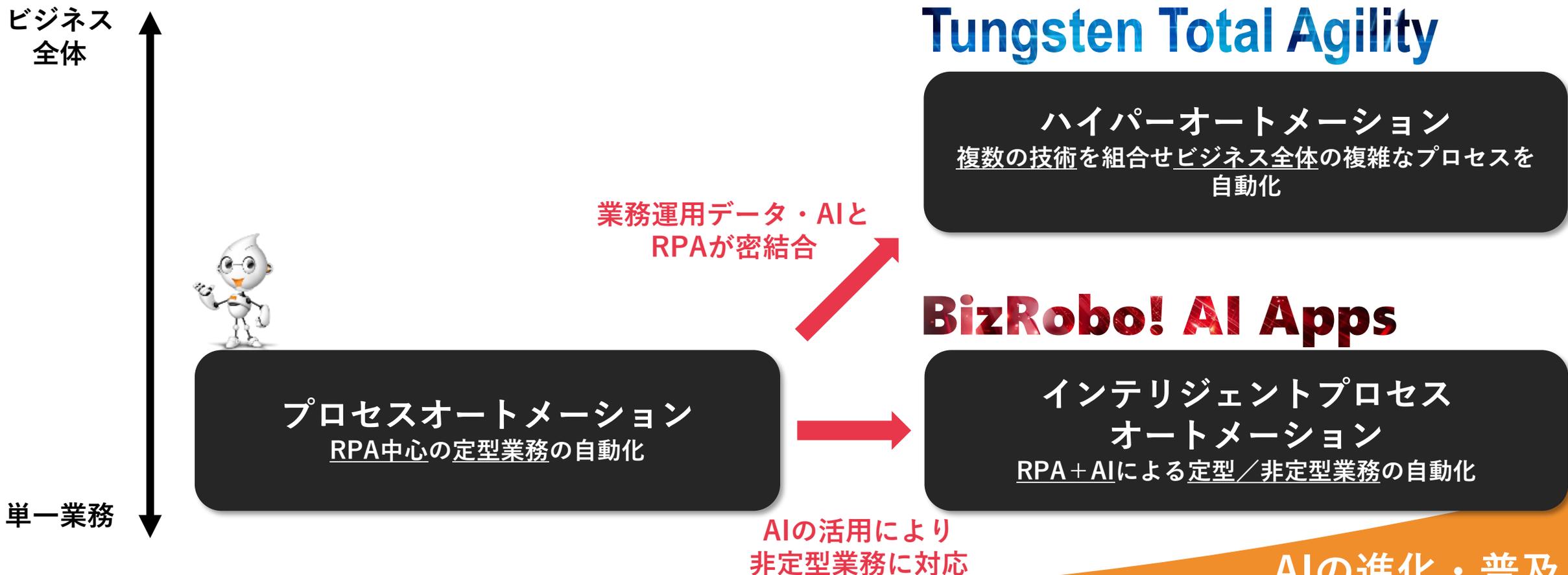
RoboRobo

- コンプライアンスチェックは、2024/2期に単月黒字化、2025/2期は通期で黒字化を想定。アップセル等により、ARRの拡大にフォーカス
- バックオフィス業務が対象領域であり事業機会は膨大。現在事業開発を進めているペイロールの対象市場である給与計算代行市場は2022年度で3,290億円規模、今後の潜在市場としても7,000億円以上の拡大が想定される。
- （株）あすかペイロールプログループインによる取り組みを皮切りに、バックオフィスのデジタルBPOセンターの立ち上げを推進

PRESCO

- 労働集約型のCPA広告業界において、オートメーション化を実現。当社の強みであるRPA等の先端技術の社会実装が最も威力を発揮した領域
- CPA広告の市場規模は3,000億円超。競合からのリプレイス→取扱シェア拡大→取扱高増加のサイクルに入り、近年、高成長を実現
- 取扱高の拡大と並行して、手数料率の設定の見直し等を通じて、更なる収益性の向上を追求

AIの加速度的な進化・普及と共にRPAも進化し、
個人レベル/単一業務の効率化ではなく、**組織全体**の業務効率化や生産性向上を実現



ハイパーオートメーション/AIソフトウェア市場は大きく成長していくことが予測されている

Tungsten Total Agility

ハイパーオートメーション
複数の技術を組合せビジネス全体の複雑なプロセスを
自動化

2030年の市場規模、約1,186億ドル
CAGR (from 2022 to 2030) 16.5%^{※1}

BizRobo! AI Apps

インテリジェントプロセス
オートメーション
RPA+AIによる定型/非定型業務の自動化

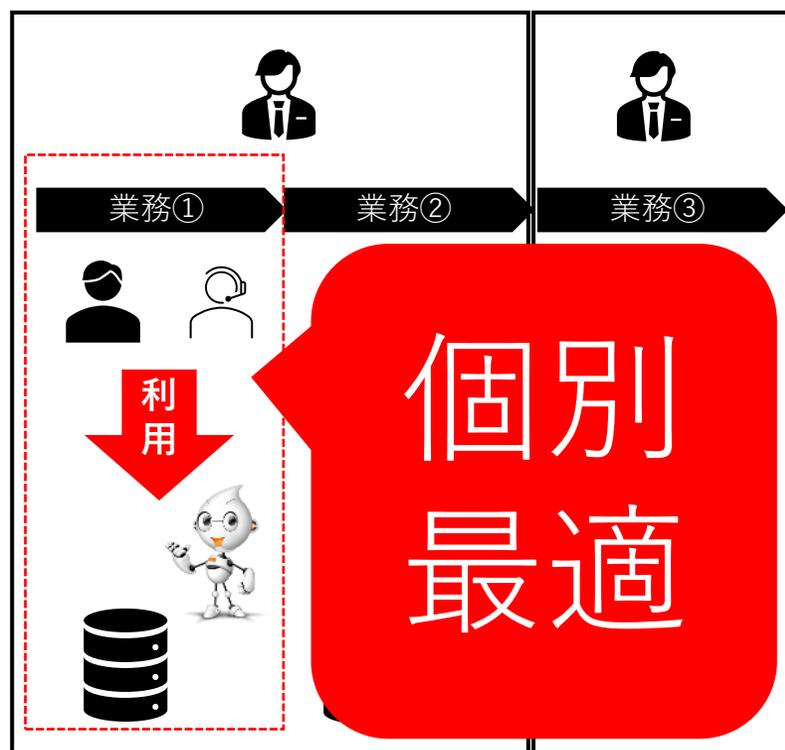
2027年の市場規模、約2,510億ドル
CAGR (from 2022 to 2027) 31.4%^{※2}

インテリジェントオートメーション事業トピックス：ハイパーオートメーションへの進化

タスクの自動化から、プロセスの自動化へ

<これまで>

ローコード・ノーコードを中心とした自動化



<ハイパーオートメーション>

複数の業務とテクノロジーを連携させて自動化



AIでRPAを進化させていく方向と、AIネイティブの業務特化AIエージェントの2つのアプローチでオートメーションを進化させていく

RPA
powered by AI



自動生成



課題発掘支援



活用・運用管理支援

業界業務の特化
AIエージェント

製造



- ・予知モデル
- ・生産計画モデル

医療



- ・算定チェックモデル
- ・帳票出力モデル

行政



- ・手続き案内モデル
- ・申請チェックモデル

小売



- ・在庫管理モデル
- ・需要予測モデル

金融

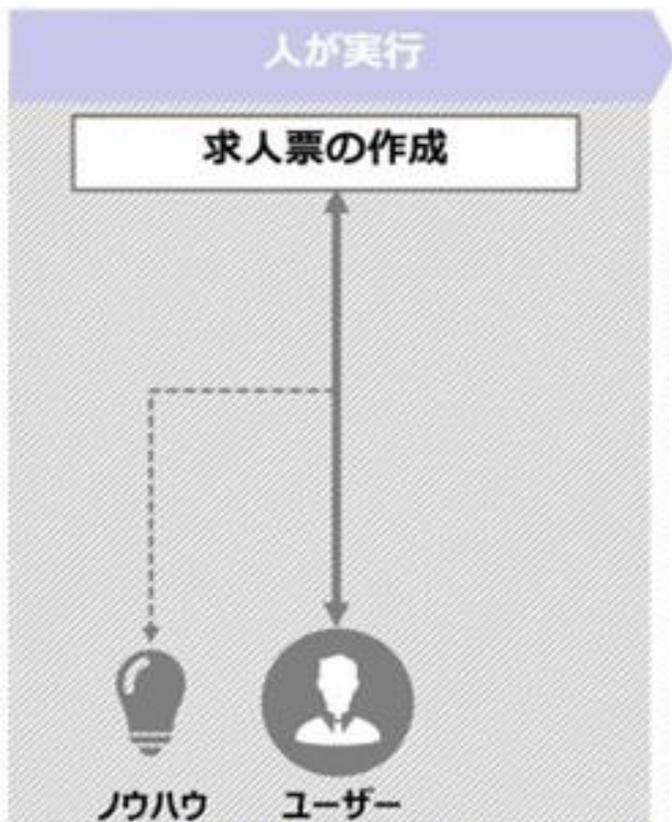


- ・犯罪検知モデル
- ・査定モデル

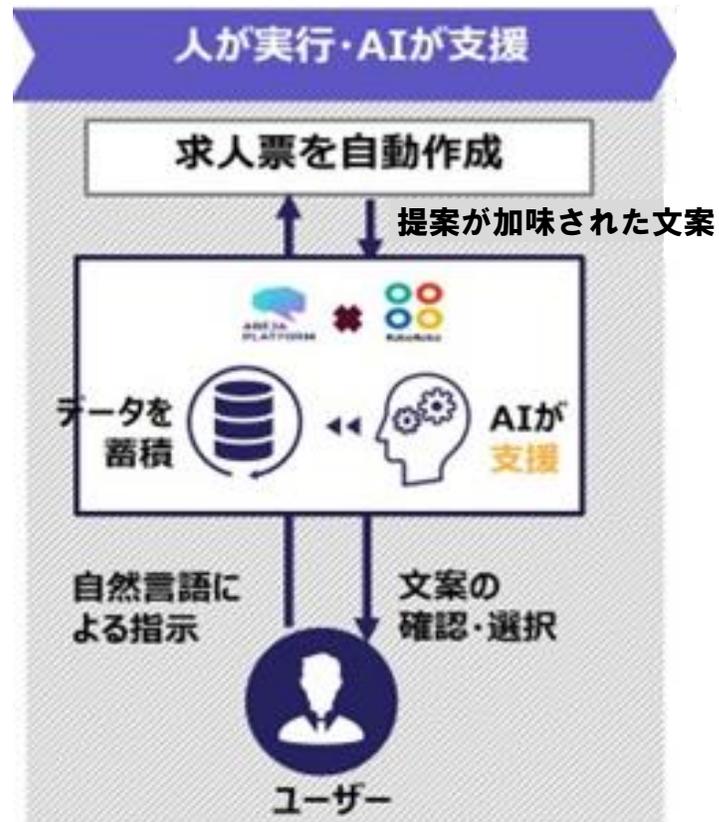
インテリジェントオートメーション事業トピックス：「RoboRobo リクルーティング」に生成 AI を搭載

新機能「ヒト.AI（ヒトドットエーアイ）」を実装、求人票のドラフト作成業務の自動化により**70%以上の人的リソースを削減**

【これまで】



【ヒト.AI（ヒトドットエーアイ）】



自動作成&提案された
求人票を人が確認して確定

募集金額
時給1200円～

アピール文章

当カフェでは、一緒にお店を盛り上げてくれるスタッフを募集中です！
未経験者大歓迎。ドリップ研修あり。

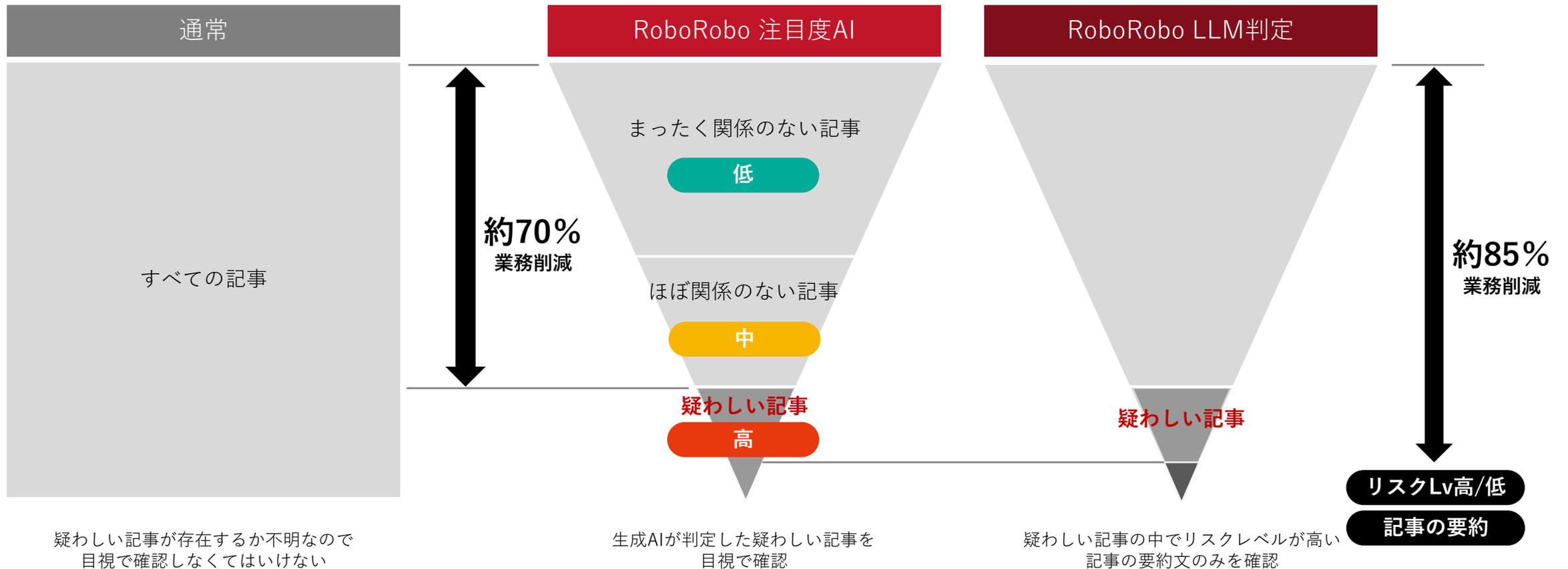
週2回から勤務可能で、学生・主婦(夫)、フリーターの方も大歓迎。
時給は1200円～！

あなたの笑顔とやる気がお客様に心地よい時間を提供します。フレンドリー（中略）

インテリジェントオートメーション事業トピックス：「RoboRobo コンプライアンスチェック」に生成 AI を搭載

企業のコンプライアンスチェックを自動化する「RoboRobo コンプライアンスチェック」に生成AIを搭載。

従来のチェック作業時間を約**85%短縮**



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。